

令和2年度 西蒲区組織目標

組織名	西蒲区	区長	西蒲区長 鈴木 浩行
組織の目的・方向性	<p>I 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進 市内の25%強の広大な経営耕地面積を有し、多種多様な農業の営みを背景に育まれた本区の豊かな「食・農業」の安心安全な農産物の高付加価値化と農業経営の効率化・安定化を進めて「もうかる農業」を目指します。また、変革期を迎えた米政策を考慮し、人・農地プランの話合いのもと、地域の中心経営体強化を進め、農業経営安定化にむけた土台づくりを進めます。</p> <p>II 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた観光業の事業継続及び回復支援 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、区の基幹産業である観光業が甚大な被害を受けているなか、その影響が地域全体の産業に波及しています。まずは観光業等の事業継続および雇用の維持ができるよう、スピード感をもった支援策を講じます。また、収束時期には国の復興策と連動した誘客促進事業について地域事業者と協同で取り組み、失われた観光需要の回復を図ります。</p> <p>III 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進 区民との協働や地域との連携を図りながら身近な地域づくりや将来のまちづくりについて意見交換の場を設けるなど地域課題解決に努めるとともに、災害に強く安心安全で区民が住んで良かったと言えるまちづくりを進めます。また、人口減少対策に取り組みながら乳幼児からお年寄りまで、障がいのある人もない人も誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支えあう仕組みづくりを目指し、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、自分の健康は自分で守ることを目的に健康管理に対する意識の醸成を図り健康寿命の延伸につなげる健康づくりを推進します。</p>		

西蒲区組織目標

<p>I 広大な農地を活用した食・農業の高付加価値化と農業経営の安定化の推進 農業者の高齢化に伴い農家が急速に減少している一方、担い手も農地の引き受けが出来なくなりつつあるため、地域の担い手対策として農地集積や法人化の取組みを支援します。 また、農業の担い手にとって安定した農業経営の実現を目指し、園芸作物の新たな産地化に向けて立ち上げた「にしかん なないろ野菜」のブランド化を図るため、通年安定供給に取り組めます。</p> <p>II 新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた観光業の事業継続及び回復支援 影響を受けた観光業等について、スピード感を持って事業継続のための支援を実施するとともに、感染の収束を見極めつつ、インパクトのある観光需要喚起を行います。 収束期を見据え、二次交通（新潟ウエストコーストライナー）・三次交通（にしかん観光周遊ぐる〜んバス）の継続的な運行・整備をすすめるとともに国内外への観光プロモーションや旅行エージェントへのセールス等を積極的に実施し、失われた観光需要の回復を図ります。</p>

Ⅲ 市民との協働、地域と連携による安心・安全で住んで良かったまちづくりの推進

- (1) 地域、防災士、専門家等と連携しながら、地域防災の担い手となる中学生の防災教育を支援するとともに継続していく体制を整備し、地域全体で自助、共助の意識を高めていきます。
- (2) 支え合いの仕組みづくり推進員と連携して地域の茶の間や住民主体の支援サービスを創出するとともに、高齢者見守り事業を実施します。
- (3) 健康教育、健康相談、イベントをはじめ、地区組織と連携し健康づくりの普及を図り、生活習慣の改善に向けた取り組みを根付かせて、健康寿命の延伸に取り組みます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 農地の集積及び集約化率が低い地域への積極的な支援や法人・担い手が少ない地域への法人化支援、「にしかん なないろ野菜」の通年安定供給の推進
【指標：法人化支援の組織数、ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数】
- 2 新型コロナウイルス感染拡大の影響から観光需要の回復を目指し、新潟空港からの二次交通「新潟ウエストコーストライナー」の運行拡充と観光周遊バスの試験運行を軸に関西圏等への誘客プロモーション・セールスを実施
【指標：プロモーションイベント・エージェントセールス実施回数】
- 3 にしかん地域防災共育事業の推進
【指標：にしかん地域防災共育事業の実施校数】
- 4 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援、高齢者見守り事業を実施
【指標：サービス事業数、高齢単身世帯の状況把握】
- 5 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援
【指標：生活習慣病予防の健康教室参加者、ウォーキング記録参加者数】

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	4
取組結果	1 農地の集積及び集約化率が低い地域への積極的な支援や法人・担い手が少ない地域への法人化支援、「にしかん なないろ野菜」の通年安定供給の推進 【指標：法人化支援の組織数、ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数】 《法人化支援の組織数》 目標：3組織 実績：4組織（北野・西中・島方・横戸4地域の組織） 《ブランド化に向けた安定供給品種の月別品種件数》 目標：10品種 実績：17品種（にしかん なないろ野菜の月別平均17.4品種の販売）			
	2 新型コロナウイルス感染拡大の影響から観光需要の回復を目指し、新潟空港からの二次交通「新潟ウエストコーストライナー」の運行拡充と観光周遊バスの試験運行を軸に関西圏等への誘客プロモーション・セールスを実施 【指標：プロモーションイベント・エージェントセールス実施回数】			

《プロモーションイベント実施回数》

目標：2回 実績：0回（新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。）

《エージェントセールスの実施回数》

目標：2回 実績：4回

（関西圏発着旅行2回、マイクロツーリズム県内モニターツアー2回）

3 にしかん地域防災共育事業の推進

地域防災の担い手となる中学生の防災教育を支援し、地域全体で自助、共助の意識を高めることができました。

【指標：にしかん地域防災共育事業の実施校数】

目標：2校 実績：2校

4 日常生活圏域における課題解決のための「地域の茶の間」などのサービス創出を支援、高齢者見守り事業を実施

【指標：サービス事業数、高齢単身世帯の状況把握】

《サービス事業数》

目標：5件 実績：2件

《高齢単身世帯の状況把握》

目標：100%（巻圏域） 実績：100%（R1を含め全域把握終了）

5 健康教育等の生活習慣の改善に向けた行動変容のための支援

【指標：生活習慣病予防の健康教室参加者、ウォーキング記録参加者数】

《生活習慣病予防の健康教室等の参加者数、ウォーキング記録参加者数》

目標：2,300人 実績：3,860人

今後の方向性

1 効率的な農業経営体の確立に向け、農地の集積や集約化に向けた積極的な支援や担い手対策としての法人化支援に取り組んでいきます。また、新たな園芸品目の産地確立として取り組んできた「にしかん なないろ野菜」の通年安定供給体制や販路拡大推進を引き続き支援していきます。

2 新たな観光需要であるマイクロツーリズムによる誘客など、引き続き国・県の支援策も活用しながら地域事業者と協同し、事業継続・需要回復への取り組みをすすめていきます。

3 安全で災害に強いまちづくりを進めるため、今後も地域防災の担い手となる中学生の防災教育を支援し、自助、共助による地域防災力の向上を図ります。

4 地域包括ケアを推進するため、支え合いの仕組みづくり推進員等と連携しながら、地域の茶の間をはじめとした住民主体の共助の仕組みづくりについて継続して支援していきます。

5 健康寿命の延伸を図るため、新型コロナウイルス対策を行いながら、健康教育等を実施し、生活習慣の改善に向けた行動変容について継続して周知啓発していきます。